

福岡市精神保健福祉センター

平成 28 年度

所 報

目次

I 福岡市精神保健福祉センター概要

- | | | |
|---|--------------------------|----|
| 1 | 精神保健福祉センターの業務 | P1 |
| 2 | 福岡市精神保健福祉センターの沿革 | P1 |
| 3 | 施設及び職員 | P2 |
| 4 | 精神保健福祉センター所長の関係団体委員等就任状況 | P3 |

II 事業実績

- | | | |
|----|----------------------------|-----|
| 1 | 技術支援事業 | P4 |
| 2 | 教育研修 | P9 |
| 3 | 普及啓発事業 | P13 |
| 4 | ひきこもり対策推進事業 | P18 |
| 5 | 依存症対策推進事業 | P22 |
| 6 | 自殺対策事業 | P25 |
| 7 | 相談事業 | P33 |
| 8 | 組織育成 | P35 |
| 9 | 関係機関との会議 | P37 |
| 10 | 精神医療審査結果 | P39 |
| 11 | 自立支援医療公費負担及び精神障害者保健福祉手帳の判定 | P40 |
| 12 | 調査研究事業 | P41 |

III 資料

- | | | |
|---|------------------------|-----|
| 1 | 精神保健福祉センター運営要領 | P46 |
| 2 | 福岡市精神保健福祉センター条例・施行規則 | P48 |
| 3 | 福岡市精神保健福祉センター運営協議会設置要綱 | P51 |
| 4 | こころの健康だより | P53 |

I 福岡市精神保健福祉センター概要

- 1 精神保健福祉センターの業務
- 2 福岡市精神保健福祉センターの沿革
- 3 施設及び職員
- 4 精神保健福祉センター所長の関係団体委員等
就任状況

1 精神保健福祉センターの業務

(1) 施設の目的

精神保健福祉分野の専門的中枢機関として、市民の心の健康に関する相談や知識の普及、精神障がい者とその家族への訪問指導や社会復帰の促進、保健所、社会復帰施設等に対しては技術支援や連絡調整を行う。

(2) 根拠法令

[精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）]

第6条 都道府県（平成8年度から指定都市についても規定）は、精神保健の向上及び精神障害者の福祉の増進を図るための機関（以下「精神保健福祉センター」という。）を置くものとする。

(3) 条 例 「福岡市精神保健福祉センター条例」（平成12年11月1日施行）・・・P48参照

(4) 業 務

- ア. 相談指導事業
- イ. 精神障がい者の社会復帰に関する事業
- ウ. 地域支援・訪問指導事業
- エ. こころの健康づくり事業
- オ. 教育研修及び関係機関への技術支援
- カ. 精神障害者保健福祉手帳及び通院医療費公費負担の審査
- キ. 精神医療審査会
- ク. 会議・学会等参加
- ケ. 調査研究

2 福岡市精神保健福祉センターの沿革

| | |
|-------|--|
| 平成3年度 | 「精神保健対策に関する提言」（精神保健対策検討委員会） こころの健康づくりシステムの中核的役割を果たす施設が必要 |
| 4年度 | 精神保健対策協議会（関係局部長会議）センターの役割と機能 |
| 5年度 | センター構想策定準備委員会 |
| 7年度 | 構想策定小委員会 |
| 8年度 | 基本構想策定委員会「センター基本構想に関する提言」策定 |
| 9年度 | 市精神保健福祉審議会専門部会「センター基本計画に関する提言」 |
| 11年度 | 10月～3月 施設設計委託 |
| 12年度 | 6月～9月 改修工事・設備整備 9月1日 開設準備担当部長発令 10月1日 職員配置 11月1日 開所 |
| 14年度 | 社会復帰担当嘱託員配置 |
| 19年度 | 障害者自立支援法施行に伴い事務職員増 |
| 21年度 | 主査（自殺対策推進担当等）配置 |
| 22年度 | ひきこもり成年地域支援センター（よかよかルーム）開設 |
| 25年度 | 副所長配置 自殺予防情報センター開設（自殺対策係長、嘱託員配置） 事務所移転（あいれふ6階より3階へ） |

| [国の動向] |
|-----------------------------------|
| H5：「障害者基本法」成立（精神障がい者を障がい者として位置づけ） |
| H7：「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」への改正 |
| H8：「障害者プラン」策定 |
| H9：「精神保健福祉法」制定 |
| H12：「精神保健福祉法」改正 |
| H18：「障害者自立支援法」施行 |
| H25：「総合支援法」施行 |

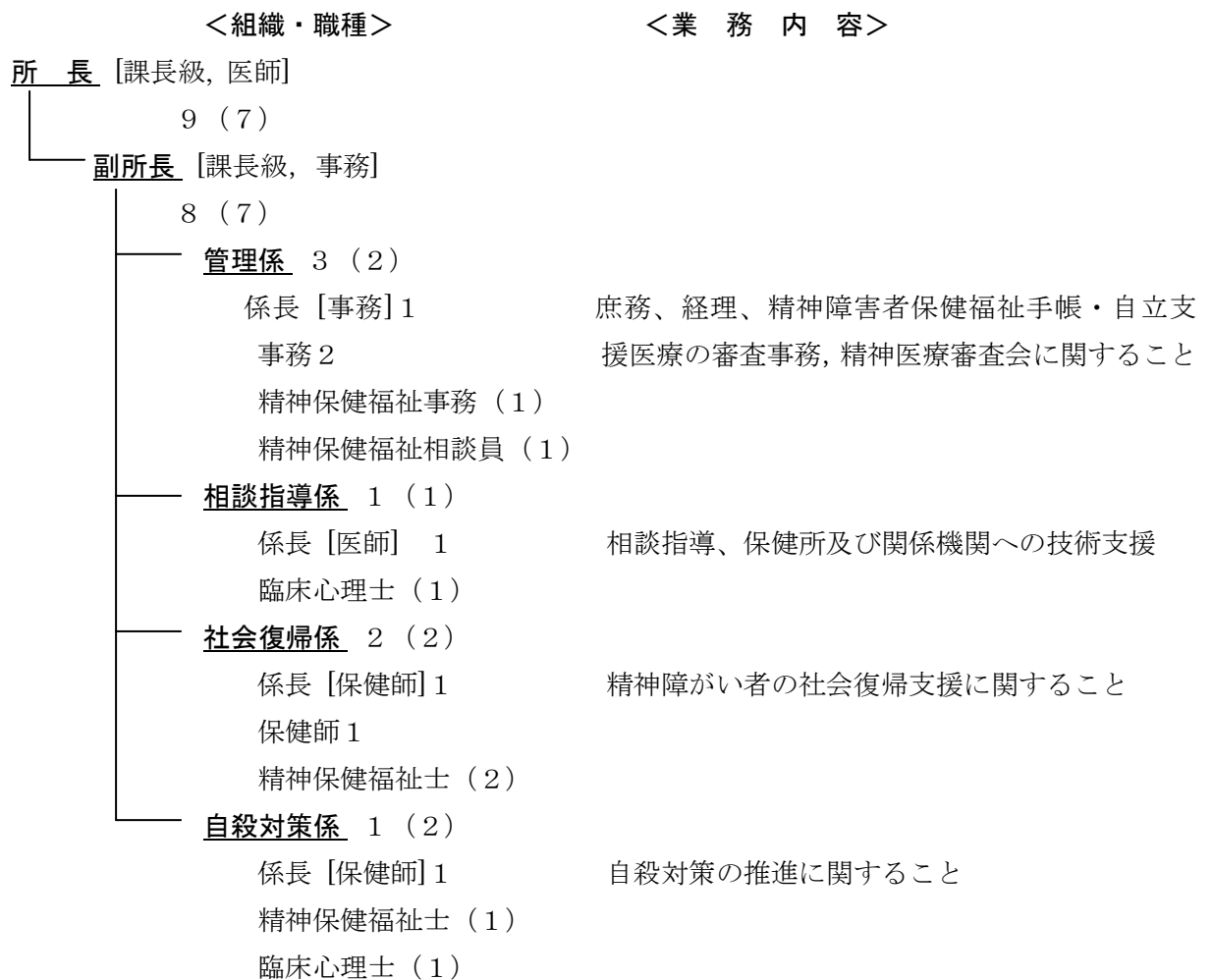
3 施設及び職員

(1) 施設の概要

- 位 置 福岡市中央区舞鶴2丁目5-1
あいれふ3階西側
- 名 称 福岡市精神保健福祉センター
- 専用面積 約369.09㎡
- 室 名 相談室、電話相談室、
事務室、所長室、ミーティングルーム
よかよかルーム（ひきこもり成年地域支援センター）、倉庫
自殺予防情報センター

(2) 職員の組織及び一覧

福岡市精神保健福祉センターの組織・体制・(平成29年8月1日現在)



* () は嘱託員数で外数

4 精神保健福祉センター所長の関係団体委員等就任状況

| 番号 | 関係団体名 | 28年度 | 29年度 | 事務局（所管課） |
|----|--------------------------|------|------|------------------------------|
| 1 | 福岡県精神保健福祉協会 理事 | ○ | ○ | 福岡県精神保健協会 (保健福祉局保健予防課) |
| 2 | 福岡県地域精神保健協議会福岡ブロック協議会 委員 | ○ | ○ | 福岡県地域精神保健協議会 (保健福祉局保健予防課) |
| 3 | メンタルヘルス対策推進協議会 委員 | ○ | ○ | 総務企画局コンプライアンス・安全衛生課 |
| 4 | 職員衛生管理審査会 委員 | ○ | ○ | 総務企画局コンプライアンス・安全衛生課 |
| 5 | 福岡市学校精神保健協議会 委員 | ○ | ○ | 教育委員会健康教育課 |
| 6 | 福岡市男女共同参画推進協議会幹事会 幹事 | ○ | ○ | 市民局男女共同参画課 |
| 7 | 福岡市発達障がい者支援協議会 委員 | ○ | ○ | こども未来局こども発達支援課 |
| 8 | 福岡市教職員身体検査審査会 委員 | ○ | | 教育委員会教職員課 |
| 9 | 福岡市障がい者就労支援センター運営協議会 委員 | ○ | ○ | 福岡市福祉事業団 (保健福祉局障がい者在宅支援課) |
| 10 | 福岡市立病院機構職員衛生管理審査会 委員 | ○ | ○ | 福岡市立病院機構 |
| 11 | 特別児童扶養手当に係る精神障害判定 嘱託医 | ○ | ○ | こども未来局こども家庭課 |
| 12 | 福岡市民生委員推薦会 委員 | ○ | ○ | 保健福祉局福祉・介護予防課 |
| 13 | 認知症初期集中支援検討会議 委員 | ○ | ○ | 保健福祉局地域包括ケア推進課 |
| 14 | 福岡県摂食障害者対策推進会議 副会長 | ○ | ○ | 福岡県保健医療介護部健康増進課 |
| 15 | 福岡県精神保健福祉審議会 委員 | ○ | ○ | 福岡県保健医療介護部健康増進課 |
| 16 | 全国精神保健福祉センター長会 常任理事 | ○ | | 一般社団法人 日本公衆衛生協会 |

Ⅱ 事業実績

- 1 技術支援事業
- 2 教育研修
- 3 普及啓発事業
- 4 ひきこもり対策推進事業
- 5 依存症対策推進事業
- 6 自殺対策事業
- 7 相談事業
- 8 組織育成
- 9 関係機関との会議
- 10 精神医療審査結果
- 11 自立支援医療公費負担及び精神障害者保健福祉手帳の判定
- 12 調査研究事業

1 技術支援事業

保健福祉センターとの合同訪問や処遇困難事例の対応等についての事例検討、関係機関・団体が実施する精神保健福祉に関する研修会等へ当センターより職員の派遣を行っている。

(1) 保健福祉センター職員と精神科医との合同訪問指導事業

保健福祉センターの相談ケースで、精神科の医療未受診者または治療中断者に対して、保健福祉センター職員と当センター医師が合同訪問を行っている。

| | 東 | 博多 | 中央 | 南 | 城南 | 早良 | 西 | 合計 |
|-----|---|----|----|---|----|----|---|----|
| 実件数 | 0 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 7 |
| 延件数 | 0 | 4 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 8 |

(2) 精神科医によるこころの健康相談への支援

月1回、保健福祉センターが実施するこころの健康相談に相談医として従事している。

| | 東 | 博多 | 中央 | 南 | 城南 | 早良 | 西 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 回数 | 11 | 0 | 10 | 7 | 0 | 8 | 9 | 45 |
| 件数 | 23 | 0 | 21 | 11 | 0 | 13 | 17 | 85 |

※博多区と城南区は相談医従事の割り振りなし。

(3) 事例検討会

関係各所からの依頼等により、精神障がい者の家庭訪問事例や処遇困難事例の検討会に当センター医師が参加し、治療や対応等に関する助言指導を行っている。

① 各区との検討会

| | 会議名 | 月 日 | 内 容 |
|----|-------------------|-----------|----------------------------------|
| 東 | 精神障がい者 訪問事例検討会 | 3月 3日 (金) | 「家庭訪問事例検討 12ケース」 精神保健福祉センター医師 |
| 博多 | 精神障がい者 訪問事例検討会 | 2月 1日 (水) | 「家庭訪問事例検討 15ケース」 精神保健福祉センター医師 |
| 南 | 精神障がい者 訪問事例検討会 | 2月 7日 (火) | 「家庭訪問事例検討 19ケース」 精神保健福祉センター医師 |
| 城南 | 精神障がい者 訪問事例検討会 | 3月 3日 (金) | 「家庭訪問事例検討 14ケース」 精神保健福祉センター医師 |
| 早良 | 精神障がい者 訪問事例検討会 | 3月 1日 (水) | 「家庭訪問事例検討 18ケース」 精神保健福祉センター医師 |
| 西 | 精神障がい者 訪問事例検討会 | 2月10日 (金) | 「家庭訪問事例検討 15ケース」 精神保健福祉センター医師 |

※中央区については、都合により欠席

② 関係機関との検討会

| 会議名 | 月 日 | 内 容 |
|------------------------|--|--------------------|
| 福岡大学病院 GID 症例検討会 | 4月13日(水) 6月14日(火) 7月12日(火) 8月9日(火) 9月13日(火) 10月11日(火) 11月15日(火) 12月13日(火) 1月10日(火) 2月14日(火) 3月14日(火) | G I D症例検討 |
| ゆうゆうセンター ケースカンファレンス | 8月24日(水) 10月21日(木) 12月7日(水) 12月14日(水) 1月18日(水) 2月22日(水) 3月23日(水) | ゆうゆうセンターの定例カンファレンス |
| 城浜小学校 | 9月28日(水) | 個別支援に関するケア会議 |
| 博多区事例検討会 | 10月7日(金) | 個別支援に関するケア会議 |
| 城浜小学校 | 10月14日(金) | 個別支援に関するケア会議 |
| グループホームさいかい | 11月7日(月) | 個別支援に関するケア会議 |
| うえむらメンタルサポートクリニック | 3月2日(木) | 個別支援に関するケア会議 |

(4) 講師派遣

① 関係課からの依頼による講演

| | 日時 | 主催 | 内容 | 参加数 | 対象 |
|---|-----------|-------|---|-----|------------|
| 市 | 4月11日(月) | 人材育成課 | 新規採用職員研修 「精神障がい者の理解のために、 障がいのある方々との体験交流」 精神保健福祉センター保健師 | 233 | 新規採用 職員 |
| | 10月11日(火) | | | 40 | |
| 東 | 10月 3日(金) | 健康課 | 東区精神保健福祉講座 「統合失調症の理解」 精神保健福祉センター医師 | 30 | 家族など |
| | 11月17日(月) | 健康課 | 東区うつ病予防講座 「うつ病とは」 精神保健福祉センター医師 | 9 | 市民 |
| | 12月 6日(火) | 保護課 | 東区精神保健福祉研修 「精神障害の理解と対応」 精神保健福祉センター医師 | 50 | 職員 (CW) |

| | | | | | |
|----|-----------|--------|--|----|-----------|
| 中央 | 10月14日(金) | 健康課 | 中央区精神保健家族講座 「精神科での体験から(精神医療について)」 精神保健福祉センター医師 | 12 | 家族など |
| | 2月27日(月) | 保護課 | 第4期 地区別研修会 「薬物依存症について」 精神保健福祉センター医師 | 40 | 保護課 職員 |
| | 3月17日(金) | 中央区総務課 | 中央区きづなづくり研修会 「依存症について」 精神保健福祉センター医師 | 80 | 中央区 職員 |
| 南 | 8月26日(金) | 健康課 | 南区うつ病予防教室 講演「うつ病とは」 精神保健福祉センター医師 | 7 | 市民 |
| | 2月13日(月) | 保護課 | 精神保健福祉に関する研修 「精神障害の理解と対応」 精神保健福祉センター医師 | 80 | 保護課 職員 |
| 城南 | 1月31日(火) | 保護課 | 精神保健福祉に関する研修 「精神障害の理解と対応」 精神保健福祉センター医師 | 36 | 保護課 職員 |
| 早良 | 6月16日(木) | 健康課 | 講演「統合失調症の症状と 治療について」 精神保健福祉センター医師 | 10 | 家族 |
| 西 | 5月18日(水) | 健康課 | 講演「統合失調症の理解」 精神保健福祉センター医師 | 30 | 家族 |
| | 7月 7日(木) | 健康課 | 西区こころの健康づくり教室 講演「うつ病とは」 精神保健福祉センター医師 | 13 | 関心のある方 |

② 他機関からの依頼による講演

| 日 時 | 主 催 | 内 容 | 参加数 | 対 象 |
|-------------------|----------------|--|-----|--------------------------|
| 6月29日(水) | あいあいセンター | ホームヘルパースキルアップ研修 「精神保健福祉手帳について」 精神保健福祉センター 保健師 | 50 | ホームヘルプ事業者, サービス提供責任者等 |
| 7月15日(金) | 保護観察所 | 薬物事犯者の引受人講習会 「薬物依存症について」 精神保健福祉センター 医師 | 50 | 引受人 保護司 |
| 2月17日(金) | | | 70 | |
| 5月16日(月) | 梅香寮 | 「SMARPP」 ・覚醒剤の身体、脳への影響 ・依存症薬物がもたらす影響 ・依存症ってどんな病気？ ・覚醒剤の影響と摂食障害 ・向精神薬について 精神保健福祉センター 医師 | 6 | 依存症者 本人 |
| 7月11日(水) | | | 6 | |
| 10月6日(木) | | | 7 | |
| 11月22日(火) | | | 5 | |
| 平成29年 1月16日(月) | | | 4 | |
| 2月27日(月) | | | 6 | |
| 7月29日(金) | 地域定着支援センター | 地域生活定着支援協議会 研修会 「依存症について」 精神保健福祉センター 医師 | 14 | 定着支援センター スタッフ等 |
| 9月16日(金) | 福岡保護観察所 | 薬物専門保護司研修 「薬物依存症について」 精神保健福祉センター 医師 | 50 | 薬物専門 保護司 |
| 12月7日(水) | 福岡市社会福祉事業団 | 職場研修 「福岡市精神保健福祉センターにおけるひきこもり支援について」 精神保健福祉センター 保健師 | 18 | 職員 |
| 1月13日(金) | 養護老人ホーム 田尻苑 | 「認知症について」 精神保健福祉センター 医師 | 15 | 職員 |
| 平成29年 1月23日(月) | 城浜小学校 | 薬物乱用防止講演 「薬物乱用防止」 精神保健福祉センター 医師 | 35 | 小学5・6年生と教諭 |
| 平成29年 2月4日(土) | 福岡市立大原小学校 | 薬物乱用防止講演 「薬物乱用防止」 精神保健福祉センター 医師 | 110 | 小学6年生と保護者, 教諭 |
| 2月15日(水) | 巡回ふくおか | 「精神障害者の理解と対応」 精神保健福祉センター 医師 | 12 | 巡回ふく おかスタッフ |
| 11月2日(水) | デイサービス幸良 | 「新型うつ病 アルコール依存症について」 精神保健福祉センター 医師 | 8 | 職員 |

| | | | | |
|----------|---------|--|-----|--------------|
| 2月17日(金) | 福岡県弁護士会 | 福岡県弁護士会 研修会 「精神科医療の基礎知識」 精神保健福祉センター 医師 | 40 | 弁護士 |
| 2月26日(日) | 福岡市薬剤師会 | うつ病対応力向上研修会 精神保健福祉センター 医師 | 100 | 調剤薬局 薬剤師等 |

③ 勤労者のメンタルヘルスに関する講演

職場のメンタルヘルス：職場のメンタルヘルスの講師紹介も行っている。

| 日時 | 主催 | 内容 | 参加数 | 対象 |
|-------------------|-------------------------|--|-----|----|
| 10月7日(金) | 福岡管区気象台 | 「職場のメンタルヘルスについて」 精神保健福祉センター 臨床心理士 | 30 | 職員 |
| 12月5日(金) | 消防局 | グループミーティング実践講習会 「惨事ストレス」 「グループミーティング実践」 NPO 法人日本消防ピアカウンセラー協会 理事長 安達氏 | 36 | 職員 |
| 平成29年 1月25日(水) | 心身障害福祉 センター | 「職場のメンタルヘルスについて」 精神保健福祉センター 医師、臨床心理士 | 80 | 職員 |
| 2月16日(木) | 福岡市障がい者 就労支援 センター | 「働く人のメンタルヘルス」 精神保健福祉センター 臨床心理士 | 26 | 職員 |

④ 出前講座

福岡のまちづくりを市民とともに進めるための取り組みの一つとして、市職員が地域に伺い、市の取り組みや暮らしに役立つ情報などを説明するもの。

| 日時 | 主催 | 内容 | 参加数 | 対象 |
|------------------|--|--------------------------------|-----|----|
| 6月23日(木) | 社会福祉法人福岡 県母子福祉協会 母子生活支援施設 室見寮 | 「精神障がいの理解と対応」 精神保健福祉センター 医師 | 25 | 職員 |
| 9月29日(木) | ふくおか福祉 サービス協会 | 「精神障がいの理解と対応」 精神保健福祉センター 医師 | 132 | 職員 |
| 9月30日(金) | ふくおか福祉 サービス協会 | 「精神障がいの理解と対応」 精神保健福祉センター 医師 | 75 | 職員 |
| 平成29年 2月2日(木) | (株) アタストリア・ゼネラル サポート 福岡事務センター | 「精神障がいの理解と対応」 精神保健福祉センター 医師 | 16 | 職員 |
| 3月21日(火) | ニチイケア センター 姪浜 | 「精神障がいの理解と対応」 精神保健福祉センター 医師 | 22 | 職員 |

2 教育研修(人材育成)

精神保健福祉業務に従事する職員等の技術水準の向上を図るため、日常の相談業務等に必要な基礎知識、専門知識等の習得を図る各種研修会を実施している。また、ピアスタッフのスキルアップ研修も実施している。

(1) 研修会

① 精神保健福祉業務研修

【対象】各区保健福祉センター健康課精神保健福祉係転入職員等

【場所】あいにふ研修室

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|----------------------------------|--|-----|
| 平成28年 5月26日(木) 13:30~17:10 | 1 「精神保健福祉業務の概要」 保健予防課精神保健福祉係 2 「措置入院関係等」 保健予防課精神保健福祉係 3 「精神障がい者の地域生活支援について」 障がい者施設支援課施設支援係 4 「精神障がい者の在宅福祉サービスについて」 障がい者在宅支援課在宅サービス係 5 「医療保護入院関係等」 精神保健福祉センター管理係 6 「自立支援医療・手帳交付事務」 精神保健福祉センター管理係 | 11 |

② 精神保健福祉基礎研修

精神保健福祉の経験が少ない職員及び関係者を対象に基礎研修を開催。

【対象】社会復帰施設や精神科病院および診療所、行政などの関係職員

【場所】あいにふ講堂

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|---------------------------------|---|--|
| 平成28年 6月9日(木) 14:00~16:30 | 1 「精神疾患の理解」 精神保健福祉センター医師 宇佐美貴士氏 | 122 行政機関 11 社会復帰施設 23 医療機関等 12 居宅介護事業所 64 その他 12 |
| 6月17日(金) 14:00~16:30 | 2 「精神障がい者の理解と対応」 地域活動支援センター「ぶらっと」施設長 鷹尾 和顕氏 | 125 行政機関 25 社会復帰施設 28 医療機関 9 居宅介護事業所 52 その他 11 |

③ 精神保健福祉従事者専門研修（地域移行支援に関する従事者研修）

【対象】社会復帰施設職員，精神科病院および診療所職員，行政職員などの関係職員

【場所】あいれふ講堂

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|---|---|--|
| 平成28年 9月28日(水) 19:00～21:00 | 「性同一性障害（性別違和）の理解」 福岡大学医学部精神医学教室 医師 黒岩健輔氏 「当事者の立場から～現状と困難～」 gid.jp九州支部 スタッフ | 58 行政機関 13 医療機関 27 障がい福祉事業所 6 教育関係 8 その他 4 |
| 12月20日(火) 13:30～16:00 事前打ち合わせ (4回) | 「長期入院患者の地域移行支援について」 障がい者基幹相談支援センター 松野 浩二氏 「取り組み紹介 リレー報告」 城南区精神障がい者相談支援センター 村中 貴輝氏 国立病院機構九州医療センター 井上 理子氏 訪問看護ステーション アトラス福岡 戸川 直樹氏 居宅介護事業所 株式会社アスパル 高崎 和也氏 当事者 グループワーク コーディネーター：福岡市東区精神障がい者相談支援センター センター長 大畑 邦広氏 | 86 行政機関 19 医療機関 29 訪問看護 12 相談支援機関 23 いきいきセンター 3 |

④ アディクション関連問題研修会

福岡市精神保健福祉センター・福岡県精神保健福祉センターと福岡県精神医療センター太宰府病院による持ち回りで年3回開催している。

(夏期：市精神保健福祉センター，秋期：県精神保健福祉センター，冬期：県立精神医療センター太宰府病院)

【対象】アルコール・薬物関連問題の相談等に従事する者など 【場所】あいれふ講堂

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|-----------------------------------|--|--|
| 平成28年 11月30日(水) 14:00～16:00 | 「薬物依存症の理解～福岡市精神保健福祉センターにおける薬物依存症支援の実際～」 精神保健福祉センター スタッフ | 47 行政機関 25 社会復帰施設 10 医療機関 2 学校 3 司法・警察 4 その他 3 |

⑤ 自殺対策事業における研修 ※ 7で掲載

7 精神保健福祉関係者等うつ病対応力向上研修

⑥ 精神科医への発達障害対応力向上研修

発達障害を診療可能な精神科医療機関を増やすこと、精神科医の対応力を向上することを目的とした研修会を、平成28年10月より開催している。

【対象】精神科医

【場所】あいろ研修室

| 日時 | 内容 |
|-----------------------------------|--|
| 平成28年 10月18日(火) 19:00~21:00 | 講演 「発達障害とは」 |
| 11月16日(水) 19:00~21:00 | 講演 「発達障害を見落とさないために」 事例 「パーソナリティ障害か発達障害か判断に迷う43歳女性」 |
| 12月27日(火) 19:00~21:00 | 講演 「自閉症あるある～自閉症の特徴と、アドバイスの具体例～」 事例 「自閉症スペクトラム症と診断・告知を行い適応が改善した1例」 |
| 平成29年 2月3日(金) 19:00~21:00 | 講演 「発達障害で行う心理検査について」 事例 「治療経過の中で自閉性が顕在化した双極性障害Ⅱ型の症例」 |
| 3月7日(火) 19:00~21:00 | 講演 「発達障害の診方について」 事例 「自閉症スペクトラム障害合併症で不適応を起こした症例」 |

⑦ その他

7 ピアスタッフスキルアップ研修

地域活動支援センター等に勤務しているピアスタッフを対象に、支援活動に際して必要な知識や技術を学ぶことを目的に、平成20年度より開催している。

【対象】地域活動支援センターⅠ型やグループホーム等に勤務しているピアスタッフ、その他の支援者

【場所】あいろ研修室

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|----------------------------------|--|-----|
| 平成29年 2月28日(火) 14:00~16:00 | 講演 「ピアスタッフの役割～障害受容とピアサポート～」 うめづメンタルケアセンター 理事長 梅津 和子氏 | 30 |
| 3月 9日(木) 14:00~16:00 | 体験談 「どのように乗り越えてきたか」 心の春希望 古屋氏, 木本氏 グループワーク | 19 |
| | 参加数合計 | 49 |

(2) 学生実習等の受け入れ

① 学生実習

| 学校名 | 期間 | 人数 |
|-------------------|------------|----|
| I L Pお茶の水医療福祉専門学校 | 8月1日～9月18日 | 1 |
| 九州産業大学 | | 1 |

② 施設見学

| 学校名など | 日時 | 内容 |
|--------------------------------|-----------|---|
| 福岡女学院大学 大学院 臨床心理学専攻 大学院生 | 9月15日(木) | <ul style="list-style-type: none">・精神保健福祉センターの概要・心理士の業務・福岡市ひきこもり成年地域支援センター（よかよかルーム）について |
| 福岡教育大学 福祉社会教育コース 2年生 | 9月12日(月) | <ul style="list-style-type: none">・精神保健福祉センターの概要・相談業務について |
| 九州大学法学部 | 12月16日(金) | <ul style="list-style-type: none">・精神保健福祉センターにおける薬物関連事業について |

3 普及啓発事業

精神障がいについて正しく理解してもらうために、啓発交流事業や講演会及び家族教室などを開催し、一般市民への普及啓発を行っている。また、センター機関誌として「こころの健康だより」を年2回発行している。

(1) 精神保健福祉啓発交流事業

① ハートメディア2016～きてみてふれる 心の輪～

広く市民へ精神障がいについての理解を促すこと、また、当事者の表現の機会をつくることを目的に平成13年度より開催している。

【主催】精神保健福祉啓発交流事業「ハートメディア」実行委員会

【対象】市民や当事者、家族、支援者 【場所】あいれふ

| | 日時 | 内容 | 来場数 | |
|------------------|-------------------------------|--|-------|-------------|
| あ い れ ふ | 平成28年 10月19日(水) ～21日(金) | <ul style="list-style-type: none"> ○「心で創る作品展」 精神障がいの者の絵画や手芸、作文などの作品展示 施設数： 31施設 作品数： 226点 ○「ふれあいコンサート」(10月19日) 司会：リプル 山口氏、心の春希望 山崎氏 出演：当事者と支援者含め 7組 ○映画上映会「パーソナルソング」(10月20日) ○「バザー」 20施設参加 | 1,124 | のべ 1,240 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ○「講演会」(10月21日)：福岡県作業療法協会と共催 「認知症の理解と支援」 講師：東京都立松沢病院 院長 齋藤 正彦氏 | 116 | |
| 実行委員会 | | 5/13 ,6/14,9/20,11/1 4回開催 | | |

② 第16回 こころの病のピアサポート講座～地域を一緒に作るばい～

精神障がい者等を対象に、同じ体験をもつ仲間がお互いに支え合っていくための講座。当事者を中心とした実行委員会にて内容を検討して開催している。

【主催】精神保健福祉啓発交流事業「ピアサポート講座」実行委員会

【対象】当事者、関心のある方 【場所】あいれふ10階 講堂

| | 日時 | 内容 | 参加数 |
|--------|---------------------------------|--|-----|
| 1 | 平成28年 9月2日(金) 13:30～16:30 | 1. 地域活動支援センターの紹介 サンサンはかた(博多区), リプル(城南区) 2. 講演「佐賀ACTplusにおけるピアサポートの力」 より添いとたい話の診療所 院長 谷口 研一朗氏 訪問看護ステーション えのか 青木 祐史氏 3. グループピアカウンセリング<オープン> | 68 |
| 2 | 9月15日(木) 13:30～16:30 | 1. 地域活動支援センターの紹介 ぶらっと(早良区), 心の春 希望(南区) 2. 講演「オープンスペースゆるかのゆるか関係」 NPO法人 くるめ出逢いの会 津野 稔一氏 オープンスペースゆるか 利用者 山中 康弘氏 3. グループピアカウンセリング<オープン> | 43 |
| 3 | 10月7日(月) 13:30～16:30 | 1. 地域活動支援センターの紹介 ピアひがし(東区), あすなる(西区) そよかぜのまち(中央区) 2. 体験談「心の病の体験者からのメッセージ」 3. グループピアカウンセリング<オープン> | 38 |
| 参加数合計 | | | 149 |
| 実行委員会 | | 当事者を中心とした実行委員会において、企画から検討、開催まで行っている。4/26,5/24,6/28,7/26,8/23,11/8,1/24 | 7回 |
| おしゃべり会 | | 「ピアサポート講座」参加者を対象にした座談交流会 | 3回 |

③ 第25回「こころの病」理解のために ～みんなの集い～

精神障がい者、精神科医師、精神保健福祉士、社会復帰施設職員等からなる「みんなの集い実行委員会」で企画・実施している。

【主催】みんなの集い実行委員会(福岡市精神保健福祉協議会)

【対象】市民 【場所】西市民センターホール

| | 日時 | 内容 | 参加数 |
|-------|----------------------------------|---|------|
| | 平成29年 2月18日(土) 13:00～16:30 | 第1部:基調講演「妻と子5人が発達障害」 講師:平岡 禎之氏 第2部:シンポジウム 「熊本震災の報告～福岡で起きたときには、私たちはどうすればいいのか、どういう準備が必要か～」 第3部:演奏会 あふりかじゃんぐる | 421人 |
| 実行委員会 | | 7/15,9/16,11/18,2/6,2/10,3/17 6回出席(現地打ち合わせ含む) | |

※実行委員として精神保健福祉センター職員が従事。

(2) 心の健康づくり等の市民講演会

① うつ病市民啓発講演会 (7で再掲)

【対象】市民 【場所】あいにふ講堂

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|-------------------------|--|-----|
| 6月23日(木) 14:00~16:00 | 「双極性障がいを診る、知る、支える」 福岡大学医学部精神医学教室 教授 川崎 弘詔 氏 | 131 |

② ひきこもり市民啓発講演会 (5で再掲)

【対象】市民 【場所】あいにふ講堂

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|--------------------------|---|-----|
| 11月19日(土) 14:00~16:30 | 「認知行動療法によるひきこもり支援」 徳島大学大学院総合科学研究部 准教授 境 泉洋 氏 | 72 |

③ 依存症市民講演会 (6で再掲)

【対象】市民、関係者 【場所】あいにふ講堂

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|----------------------------------|---|-----|
| 平成29年 3月29日(水) 14:00~16:00 | 「依存問題を持つ人の家族ができること」 オフィスサーブ代表 安高 真弓氏 | 49 |

④ 身近な自殺問題 ~福岡市フォーラム2016~ (7で再掲)

⑤ メンタルヘルス対策セミナー (7で再掲)

(3) 家族支援等に関する教室

① うつ病家族教室 (7で再掲)

【対象】うつ病患者を抱える家族 【場所】あいにふ第2研修室

【時間】13時30分~15時30分

| | 日程 | 内容 | 参加数 |
|---------|------------------|----------------------------------|-----|
| 1 | 9月15日(木) | 「医療機関における復職支援と家族の役割」 交流会 | 20 |
| 2 | 12月6日(火) | 「薬との上手な付き合い方」 交流会 | 8 |
| 3 | 平成29年 3月7日(火) | 「家族がしてあげられること ~認知行動療法の活かし方から」 | 44 |
| 参加人数 合計 | | | 72 |

② ひきこもり家族教室（5で再掲）

【対象】 ひきこもりの問題を抱える家族 【場所】 あいれふ研修室など
 【時間】 14時00分～16時00分 【プログラム】 CRAFT
 【講師】 精神保健福祉センター 臨床心理士・精神保健福祉士

| | 月 日 | | 内 容 | 参加数 | |
|-----------------------------|------|-------|-------------------------|-----|----|
| | 前期 | 後期 | | 前期 | 後期 |
| 1 | 5/11 | 11/9 | 「ひきこもりとは」「オリエンテーション」 | 16 | 13 |
| 2 | 6/8 | 12/14 | 「ポジティブなコミュニケーションを身につける」 | 15 | 14 |
| 3 | 7/13 | 1/11 | 「行動の分析・望ましい行動を増やす」 | 16 | 12 |
| 4 | 8/10 | 2/8 | 「先回りをやめ、望ましくない行動を減らす」 | 13 | 13 |
| 5 | 9/14 | 3/8 | 「家族の生活を豊かにする」 | 13 | 13 |
| 参加人数 合計 | | | | 73 | 65 |
| 参加希望者面接後の処遇検討会（4/22, 10/21） | | | | 2回 | |

③ 薬物依存問題を抱える家族のための教室（6で再掲）

【対象】 薬物依存問題を抱える家族 【場所】 あいれふ第2研修室
 【時間】 14時00分～16時00分 【プログラム】 CRAFT

| | 月 日 | | 内 容・講師 | 参加数 | |
|---------|------|-------|---|-----|----|
| | 前期 | 後期 | | 前期 | 後期 |
| 1 | 5/25 | 11/16 | 「薬物依存症とは？」 「家庭内での暴力の対応」 精神保健福祉センター 精神保健福祉士等 | 4 | 6 |
| 2 | 6/15 | 12/21 | 「ポジティブなコミュニケーション」 雁の巣病院 精神保健福祉士 | 6 | 4 |
| 3 | 7/20 | 1/18 | 「家族の対応－望ましい行動を増やす－」 精神保健福祉センター 精神保健福祉士等 | 11 | 5 |
| 4 | 8/17 | 2/15 | 「家族の対応－望ましくない行動を減らす－」 精神保健福祉センター 精神保健福祉士等 | 10 | 5 |
| 5 | 9/21 | 3/15 | 「家族のセルフケア～生活を豊かにする～」 「ナラノンの紹介」 ナラノン メンバー 精神保健福祉センター 精神保健福祉士等 | 8 | 5 |
| 参加人数 合計 | | | | 39 | 25 |

④ アルコール家族教室（6で再掲）

【対象】 飲酒依存問題を抱える家族 【場所】 あいれふ研修室

【時間】 14時00分～16時00分 【プログラム】 CRAFT

【講師】 精神保健福祉センター 精神保健福祉士等

| | 月 日 | | 内 容 | 参加数 | |
|---------|------|------|--------------------------|-----|----|
| | 前期 | 後期 | | 前期 | 後期 |
| 1 | 4/27 | 11/2 | アルコール依存症とは 家庭内での暴力の対応 | 6 | 4 |
| 2 | 6/1 | 12/7 | 家族の対応①～ポジティブなコミュニケーション～ | 7 | 5 |
| 3 | 7/6 | 1/4 | 家族の対応②～望ましい行動を増やす方法～ | 9 | 7 |
| 4 | 8/3 | 2/1 | 家族の対応③～望ましくない行動を減らす方法～ | 7 | 8 |
| 5 | 9/7 | 3/1 | セルフケア～家族の生活を豊かにする～ | 8 | 8 |
| 参加人数 合計 | | | | 37 | 32 |

(4) その他（Ⅲ資料参照）

① 精神保健福祉センター 「こころの健康だより」の発行

第46号(4月) 第47号(10月) 医療機関・社会復帰施設・公民館等の関連施設・民児協・行政機関等約700箇所に配付

② 広報媒体貸出

ア うつ病予防普及啓発パネル貸出(平成22年度開始)…実績：保健福祉センター6箇所に貸出
うつ病の予防や早期発見、早期対応を目的にうつ病に関する知識を幅広く周知するためのパネルを作成しその貸出しを実施している。
各区の健康フェアやうつ病予防教室、うつ病講演会等で掲示。

イ DVD・書籍貸出…実績：病院など7箇所に貸出

4 ひきこもり対策推進事業

ひきこもりに関する啓発を目的とした市民講演会や家族を対象にした家族教室、関係機関の連携会議を開催。また、成人期ひきこもり地域支援センター事業を行っている。

(1) ひきこもり者を抱える家族及び当事者への支援

① 家族支援

ひきこもり家族教室（3の再掲）

【対象】 ひきこもりの問題を抱える家族 【場所】 あいれふ研修室など

【時間】 14時00分～16時00分

| | 月 日 | | 内 容・講師 | 参加数 | |
|----------------------------|------|-------|---|-----|----|
| | 前期 | 後期 | | 前期 | 後期 |
| 1 | 5/11 | 11/9 | 「ひきこもりとは」「オリエンテーション」 精神保健福祉センター スタッフ | 16 | 13 |
| 2 | 6/8 | 12/14 | 「ポジティブなコミュニケーションを身につける」 精神保健福祉センター 臨床心理士 | 15 | 14 |
| 3 | 7/13 | 1/11 | 「行動の分析・望ましい行動を増やす」 精神保健福祉センター 臨床心理士 | 16 | 12 |
| 4 | 8/10 | 2/8 | 「先回りをやめ、望ましくない行動を減らす」 精神保健福祉センター 臨床心理士 | 13 | 13 |
| 5 | 9/14 | 3/8 | 「家族の生活を豊かにする」 精神保健福祉センター 臨床心理士 | 13 | 13 |
| 参加人数 合計 | | | | 73 | 65 |
| 参加希望者面接後の処遇検討会 4/22, 10/21 | | | | 2回 | |

② ひきこもりカンファレンス

個別事例の情報共有と、相互連携のための情報交換

| 日 時 | 参加者 | 参加数 |
|----------|--------------------------------------|-----|
| 8月19日（金） | 九州大学病院精神科神経科（3） よかよかルーム(1)センター(4) | 8 |
| 10月7日（金） | 九州大学病院精神科神経科（3） よかよかルーム(1)センター(4) | 8 |

(2) 普及啓発

① ひきこもり市民啓発講演会（3の再掲）

【対象】 市民、行政機関、関係機関など 【場所】 あいれふ講堂など

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|--------------------------|--|-----|
| 11月19日（土） 14:00～16:30 | 「認知行動療法によるひきこもり支援」 徳島大学大学院総合科学研究部 准教授 境 泉洋氏 | 72 |

(3) 連携・会議など

| 日 時 | 内 容 |
|------------|---|
| 1 2月15日(木) | 福岡県ひきこもり支援者等ネットワーク会議 |
| 6月30日(木) | 福岡市ひきこもり成年支援者等ネットワーク会議 (主催：福岡市ひきこもり成年地域支援センター) |
| 1 1月17日(金) | |
| 3月 2日(木) | |
| 1 1月16日(水) | 思春期相談関連懇話会 (主催：子ども総合相談センター) |
| 3月15日(水) | |
| 4月15日(金) | 福岡市ひきこもり成年地域支援センター よかよかルームスタッフ会議及び事例検討 |
| 5月19日(木) | |
| 6月16日(木) | |
| 8月18日(木) | |
| 9月15日(木) | |
| 1 0月20日(木) | |
| 1 2月15日(木) | |
| 1月19日(木) | |
| 2月19日(木) | |

(4) 成人期ひきこもり地域支援センター事業

成人期ひきこもり者の支援を充実させるため、支援の核となる「ひきこもり地域支援センター」を設置し、相談支援体制の確保を推進し、ひきこもり本人の自立を図る。(平成22年10月開設)

① 開設日

月～金曜日：午前10時～午後5時（祝祭日・年末年始を除く）

② 開設場所

あいれふ3階

③ 事業対象者

福岡市内に居住する概ね20歳以上のひきこもり本人又はその家族など

④ 配置スタッフ

ひきこもり支援コーディネーター2名 事務補助1名

(職種) 心理士・臨床心理士・社会福祉士・産業カウンセラーなど

⑤ 事業運営

NPO法人JACFAに事業委託

⑥ 事業内容

ア 相談事業

対象者からの電話、来所(面接)又は必要に応じて訪問等の相談に応じ、適切な助言を行うとともに、対象者の相談内容等に応じて、医療・保健・福祉・教育・労働等の適切な関係機関へつなぐ。

(7) 相談実績

延人数(実数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------------|
| ①電話相談 | 92 | 88 | 109 | 117 | 129 | 104 | 96 | 81 | 75 | 73 | 83 | 89 | 1136 |
| ②来所相談 | 82 | 84 | 105 | 82 | 96 | 80 | 87 | 83 | 87 | 91 | 93 | 101 | 1071 (203) |
| ③訪問相談等 | 9 | 15 | 15 | 14 | 10 | 6 | 5 | 6 | 6 | 17 | 10 | 18 | 131 (34) |
| ④その他 (メール・手紙など) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 4 (4) |
| 合 計 | 183 | 187 | 229 | 213 | 235 | 191 | 188 | 170 | 169 | 181 | 186 | 210 | 2342 (241) |

(イ) 相談者内訳

延人数

| | 本人 | 親 | 兄弟姉妹 | その他親族 | 友人知人 | 関係機関 | その他 | 不明 | 合計 |
|--------------------|-------|-------|------|-------|------|------|------|------|--------|
| ①電話相談 | 751 | 280 | 22 | 5 | 1 | 82 | 5 | 0 | 1146 |
| ②来所相談 | 570 | 664 | 41 | 9 | 2 | 10 | 4 | 0 | 1300 |
| ③訪問相談等 | 105 | 78 | 7 | 1 | 1 | 10 | 3 | 0 | 205 |
| ④その他 (メール・手紙など) | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 |
| 合 計 | 1428 | 1023 | 70 | 16 | 4 | 103 | 12 | 0 | 2656 |
| 割 合 | 53.8% | 38.5% | 2.6% | 0.6% | 0.2% | 3.9% | 0.5% | 0.0% | 100.0% |

イ 情報発信

ひきこもりに関する普及啓発を図り、センター利用及び地域の関係機関・関係事業に係る広報・周知を行うなど、ひきこもり対策に係わる情報発信に努める。

- ①ちらしの作成及び配付(相談案内ちらし、情報紙など)
- ②ホームページの更新、ブログの作成・更新。

ウ 関係機関との連携体制の構築

対象者の相談内容に応じた適切な支援を行うことができるよう、医療・保健・福祉・教育・労働等の関係機関からなる支援者ネットワーク会議を開催し、各機関間で恒常的な連携が確保できるように努める。

【福岡市ひきこもり支援者等ネットワーク会議】

| 日程 | 内容 | 参加団体 |
|---------------------------------|--|---------|
| 6月30日(木) 15:00～17:00 | ・よかよかルーム活動実績報告 ・よかよかルームケース報告 ・情報交換 | 14団体26名 |
| 11月17日(木) 15:00～17:00 | ・初参加の機関紹介 ・訪問相談事例の概要説明 | 14団体26名 |
| 平成29年 3月2日(木) 15:00～17:00 | ・事例発表 ・グループ討議 | 13団体27名 |

【参加団体20団体】

- ①支援者団体～福岡「楠の会」／NPO法人JACFA／とまり木
- ②思春期支援～市こども総合相談センター
- ③就労支援～福岡県若者サポートステーション／ハローワーク福岡中央／就労移行支援事業所 スプライフ／就労移行支援事業所ミュールーム／就労移行支援事業所ウェルビー
- ④医療機関・大学～九州大学精神神経科／ゆうきあさなこころのクリニック
- ⑤精神障がい者関係施設～中央区精神障がい者相談支援センター／福岡市立心身障がい福祉センター
- ⑥発達障がい者支援～発達障がい者支援センター
- ⑦相談窓口～南区健康課／精神保健福祉センター／福岡市社会福祉協議会／福岡市生活自立支援センター
- ⑧県内ひきこもりセンター～福岡市ひきこもり地域支援センターワンド／福岡県ひきこもり地域支援センター

エ その他の事業

(7) ひきこもり成年サポートグループ(ステュディオス)～平成22年11月から開始

日程：毎週火・木・第2水曜日 概ね13:00～17:00

場所：あいれふ8階和室、調理室 定員：10名程

内容：所外活動や食事会等の行事、ファシリテーターによるトーク

a 実施回数・参加人数

b 年代別

| | | 火・木・水 (レディスデイ) | 合計 |
|------|----|-------------------|-----|
| 実施回数 | | | 106 |
| 実人数 | 男性 | 43 | 66 |
| | 女性 | 23 | |
| 延人数 | 男性 | 552 | 873 |
| | 女性 | 321 | |

| | 実数 | |
|-----|----|----|
| | 男性 | 女性 |
| 10代 | 0 | 0 |
| 20代 | 23 | 14 |
| 30代 | 18 | 8 |
| 40代 | 2 | 1 |
| 50代 | 0 | 0 |
| 小計 | 43 | 23 |
| 合計 | 66 | |

5 依存症対策推進事業

今年度より本格的に薬物依存専門相談や当事者・家族を対象とした教室を実施するなど、より専門的な相談支援体制を整えた。また、支援者向け専門研修や関係機関との連携会議の開催、当事者グループへの支援、依存症に関するオリジナルリーフレットの作成・関係機関等への配布などを通して、啓発や連携強化に向けての取り組みを推進した。

(1) 薬物依存問題を抱える家族のための教室 (3の再掲)

【対象】薬物依存問題を抱える家族 【場所】あいえふ研修室

【時間】14時00分～16時00分 【プログラム】CRAFT

| | 月 日 | | 内 容・講師 | 参加数 | |
|---------|------|-------|--|-----|----|
| | 前期 | 後期 | | 前期 | 後期 |
| 1 | 5/25 | 11/16 | 「薬物依存症とは？」 「家庭内での暴力の対応」 精神保健福祉センター 精神科医師等 | 4 | 6 |
| 2 | 6/15 | 12/21 | 「ポジティブなコミュニケーション」 雁の巣病院 精神保健福祉士 | 6 | 4 |
| 3 | 7/20 | 1/18 | 「家族の対応-望ましい行動を増やす-」 精神保健福祉センター 精神保健福祉士 | 11 | 5 |
| 4 | 8/17 | 2/15 | 「家族の対応-望ましくない行動を減らす-」 精神保健福祉センター 精神保健福祉士 | 10 | 5 |
| 5 | 9/21 | 3/15 | 「家族のセルフケア～生活を豊かにする～」 「ナラノンの紹介」 ナラノン メンバー 精神保健福祉センター 精神保健福祉士 | 8 | 5 |
| 参加人数 合計 | | | | 39 | 25 |

(2) 薬物依存症者回復支援プログラム

【対象】薬物使用をやめたい(やめ続けたい)本人 【場所】あいえふ

【時間】10時00分～11時30分 【プログラム】SMARPP-16

| | 月 日 | 内 容 | 参加数 |
|----|----------|----------------------|-----|
| 1 | 4月 8日(金) | 「依存症について知ろう」 | 3 |
| 2 | 4月22日(金) | 「ひきがねと欲求」 | 3 |
| 3 | 5月13日(金) | 「さまざまな引き金と錨」 | 4 |
| 4 | 5月27日(金) | 「思考ストップのテクニック」 | 4 |
| 5 | 6月10日(金) | 「クリーンな生活を送るために」 | 5 |
| 6 | 6月24日(金) | 「薬物・アルコールの身体・脳への影響」 | 4 |
| 7 | 7月 8日(金) | 「私の好きなおとこ」 | 3 |
| 8 | 7月22日(金) | 「あなた自身を取り巻く状況を再確認」 | 4 |
| 9 | 8月12日(金) | 「回復のために-信頼, 正直さ, 仲間」 | 5 |
| 10 | 8月26日(金) | 「再発を防ぐには」 | 3 |
| 11 | 9月 9日(金) | 「強くなるより賢くなれ」 | 4 |
| 12 | 9月23日(金) | 「もう一つの自分, 再発見!？」 | 3 |

| | | | |
|---------|-----------|--------------------------|----|
| 13 | 10月14日(金) | 「依存症について知ろう」 | 3 |
| 14 | 10月28日(金) | 「引き金と欲求」 | 2 |
| 15 | 11月11日(金) | 「さまざまな引き金と錨」 | 3 |
| 16 | 11月25日(金) | 「これから先の生活のスケジュールを立ててみよう」 | 2 |
| 17 | 12月9日(金) | 「薬物・アルコールの身体・脳への影響」 | 3 |
| 18 | 12月26日(金) | 「去る年・来る年」 | 3 |
| 19 | 1月13日(金) | 「回復のために-信頼, 正直さ, 仲間」 | 2 |
| 20 | 1月27日(金) | 「日常生活とお金の使い道」 | 3 |
| 21 | 2月10日(金) | 「自分自身を自己紹介してみよう」 | 4 |
| 22 | 2月24日(金) | 「就労について①」 | 2 |
| 23 | 3月10日(金) | 「就労について②」 | 2 |
| 24 | 3月24日(金) | 「再発を防ぐには」 | 3 |
| 参加人数 合計 | | | 77 |

※講師はいずれも精神保健福祉センター 精神保健福祉士

(3) アルコール家族教室 (3の再掲)

【対象】 飲酒依存問題を抱える家族 【場所】 あいれふ研修室

【時間】 14時00分～16時00分 【プログラム】 CRAFT

| | 月 日 | | 内 容・講師 | 参加数 | |
|---------|------|------|--------------------------|-----|----|
| | 前期 | 後期 | | 前期 | 後期 |
| 1 | 4/27 | 11/2 | アルコール依存症とは 家庭内での暴力の対応 | 6 | 4 |
| 2 | 6/1 | 12/7 | 家族の対応①～ポジティブなコミュニケーション～ | 7 | 5 |
| 3 | 7/6 | 1/4 | 家族の対応②～望ましい行動を増やす方法～ | 9 | 7 |
| 4 | 8/3 | 2/1 | 家族の対応③～望ましくない行動を減らす方法～ | 7 | 8 |
| 5 | 9/7 | 3/1 | セルフケア～家族の生活を豊かにする～ | 8 | 8 |
| 参加人数 合計 | | | | 37 | 32 |

(4) 依存症市民講演会 (3の再掲)

【対象】 市民、関係者

【場所】 あいれふ講堂

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|----------------------------------|---|-----|
| 平成29年 3月29日(水) 14:00～16:00 | 「依存問題を持つ人の家族ができること」 オフィスサーブ代表 安高 真弓氏 | 49 |

(5) 福岡市依存症支援者連携会議

| 日 時 | 内 容 | 参 加 |
|----------|------------------|-------------|
| 8月31日(水) | 第1回福岡市依存症支援者連携会議 | 15団体 26名 |
| 2月 8日(水) | 第2回福岡市依存症支援者連携会議 | 15団体 28名 |

(6) その他関係機関との会議など

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|----------------------|---|-------------------------|
| 4月12日(火) | 福岡保護観察所内での会議 (更生保護施設と保護観察所の定例会議に出席) | 福岡保護観察所 集団処遇室 |
| 4月27日(水) | 福岡保護観察所長来所 連携体制確認 | 精神保健福祉センター ミーティングルーム |
| 4月27日(水) | 刑の一部執行猶予制度創設に伴う福岡保護観察所との連携打ち合わせ | 精神保健福祉センター ミーティングルーム |
| 5月 2日(月) | 九州DARC 代表 来所 平成28年度事業等について打ち合わせ | 精神保健福祉センター ミーティングルーム |
| 6月20日(月) 7月29日(金) | 第22回アディクションフォーラム打ち合わせ | 精神保健福祉センター ミーティングルーム |
| 11月10日(木) | 法務省 保護局観察課 課長来所 (刑の一部執行猶予の開始に向けての説明) | 精神保健福祉センター ミーティングルーム |
| 2月28日(火) | 薬物依存症者に関する地域支援連絡協議会 | 福岡保護観察所 |
| 7月13日(水) | 厚労科研(刑の一部執行猶予制度下における薬物依存者の地域支援に関する研究)説明 | 精神保健福祉センター ミーティングルーム |
| 9月20日(火) | 梅香寮との連携について | 精神保健福祉センター ミーティングルーム |
| 11月9日(水) | 梅香寮との連携について | 梅香寮 |
| 11月30日(水) | 福岡刑務所施設参観・意見交換会 | 法務省 |
| 12月12日(月) | 福岡保護観察所との打ち合わせ | 精神保健福祉センター ミーティングルーム |
| 11月25日(金) | 筑紫少女苑 平成28年度公開研究授業(見学) | 筑紫少女苑 |
| 平成29年 1月16日(月) | 福岡保護観察所との打ち合わせ | 精神保健福祉センター ミーティングルーム |
| 2月22日(水) | 県薬務課来所 | 中央保健所 応接室 |

6 自殺対策事業

福岡市における自殺対策は、平成 18 年に発足した「福岡市自殺対策協議会」を構成する関係機関・団体等と連携し、平成 25 年 4 月に精神保健福祉センター内に設置した「自殺予防情報センター」を中心に取り組みを推進している。同年 5 月に策定した「福岡市自殺対策総合計画」には、重点的に推進する 3 つの施策としてⅠ地域の実情に応じたゲートキーパー養成研修の開催と支援、Ⅱ自殺未遂者および自死遺族支援の強化、Ⅲ若年層、児童・生徒への自殺予防に資する教育の推進を掲げている。

(1) 相談支援事業

① 自殺予防相談

専用電話回線により、自殺を考えるほど悩んでいる本人やその支援者等からの相談に対応している。

受付時間：平日 10:00～16:00（祝日・年末年始を除く）

ア 電話相談

| | 件数 |
|-----------|---------|
| 延数 | 1 3 8 7 |
| (再掲) 自死遺族 | 1 2 3 |

相談者は約 8 割が当事者本人である。その他に、家族、友人、職場、関係機関等。

当事者の男女比は、3：7。年代別では 40 歳代がもっとも多いが、当事者の年齢が「～19 歳」「20～29 歳」「60～69 歳」の相談が増えている。

相談内容では健康問題が最も多く、家庭問題、経済・生活問題と続く。

イ 面接相談

電話相談等の結果、必要と判断した場合は面接での相談を行っている。

| | 件数 |
|-----------|-----|
| 延数 | 2 8 |
| (再掲) 自死遺族 | 5 |

② こころと法律の相談会（対面・電話相談）

弁護士、司法書士といった法律家と精神保健福祉士、臨床心理士、社会福祉士等の心や生活支援の専門職とが同席し、相談に対応している。

| 日 時 | 方法 | 会 場 | 件数 |
|-----------------------------|----|--------------------------|----|
| 9 月 2 7 日（火） 10:00～16:00 | 対面 | あいれふ 7 階 第 3 研修室 | 3 |
| | 電話 | あいれふ 3 階 精神保健福祉センター電話相談室 | 2 |
| 2 月 2 1 日（火） 10:00～16:00 | 対面 | あいれふ 7 階 第 3 研修室 | 1 |
| | 電話 | あいれふ 3 階 精神保健福祉センター電話相談室 | 1 |

③ その他

全国一斉こころの健康相談統一ダイヤル参加（9 月，3 月）

(2) 人材養成事業

対象の特性に応じて、ゲートキーパー養成研修を実施した。

① 一般市民対象ゲートキーパー養成研修

| 日 時 | 対 象 | 参加数 |
|--------------------------|--------------------------|-----|
| 6月17日(金) 10:00~12:00 | 城南区民生委員児童委員協議会 自立支援部会 | 46 |
| 7月13日(水) 14:00~16:00 | ビハーラ福岡 | 18 |
| 7月15日(金) 13:30~15:30 | 南区民生委員児童委員協議会 自立支援部会 | 97 |
| 8月18日(木) 10:30~12:00 | 中央区民生委員児童委員協議会 自立支援部会 | 55 |
| 8月26日(金) 10:00~11:30 | 笹丘校区民生委員児童委員協議会 | 21 |
| 10月31日(月) 13:30~15:30 | 福岡市民生委員児童委員協議会 自立支援部会 | 21 |
| 1月31日(火) 14:30~15:30 | 福岡市民生委員児童委員協議会 自立支援部会 | 20 |
| 3月8日(水) 11:00~12:30 | セラピューティックケア協会 | 16 |
| 計 | 6回 | 294 |

② 専門職対象ゲートキーパー養成研修

連携のために多職種合同で実施した。

| 日 時 | 対 象 | 参加数 |
|-------------------------|--|-----|
| 1月25日(水) 14:30~17:00 | 保健福祉関係者 (保健師7名, 看護師1名, 臨床心理士2名, 精神保健福祉士2名, 社会福祉士1名, 保育士4名, 事務職10名, 民生委員児童委員24名) | 51 |
| 計 | 1回 | 51 |

③ 精神保健福祉関係者等うつ病対応力向上研修（福岡市薬剤師会委託事業）

身近な薬局でのうつ病の早期発見，精神科医療機関と薬局との連携による一層の自殺対策の推進を図ることを目的として，薬剤師に対し，うつ病等精神疾患に関する研修を実施している。

【場所】福岡市薬剤師会館

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|-------------------------|---|-----|
| 2月26日(日) 12:30～17:30 | <p>1 基礎知識編 「うつ病の基礎知識」 講師：福岡大学病院薬剤部長 神村 英利氏 座長：福岡市薬剤師会専務理事 高木 淳一氏</p> <p>2 対応編 「うつ病の薬物療法について」 講師：八幡厚生病院薬剤課長 園田 美樹氏 座長：福岡市薬剤師会常務理事 原口 恵子氏</p> <p>3 連携編 「精神科医の薬の使い方」 講師：福岡市精神保健福祉センター所長 河野 亨氏 「薬物依存症について」 講師：福岡市精神保健福祉センター相談指導係長 宇佐美 貴士氏 座長：福岡市薬剤師会副会長 井上 嘉明氏</p> <p>4 実践編 「うつ病の治療について～実際の症例を通して～」 講師：八幡厚生病院心身医学研究部長 米良 貴嗣氏 座長：福岡市薬剤師会副会長 丸野 重信氏</p> | 97 |

(3) 普及啓発事業

① うつ病市民啓発講演会（3の再掲）

【対象】市民

【場所】あいれふ10階講堂

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|-------------------------|---|-----|
| 6月23日(木) 14:00～16:00 | <p>講演 「双極性障がいを診る，知る，支える」 福岡大学医学部精神医学教室 教授 川寄 弘詔 氏</p> | 131 |

② うつ病家族教室 (3の再掲)

うつ病患者を抱える家族が、うつ病やその対応について理解すること、また家族同士の交流を図ることを目的に開催している。

【対象】うつ病患者を抱える家族 【場所】 あいれふ第2研修室

【時間】 13時30分～15時30分

| | 日程 | 内容 | 講師 | 参加数 |
|---|-------------|---------------------------------|---------------------------|-----|
| 1 | 9/15 (木) | 「医療機関における復職支援 と家族の役割」 交流会 | 不知火クリニック 臨床心理士 日高 崇博 氏 | 20 |
| 2 | 12/6 (火) | 「薬との上手な付き合い方」 交流会 | 福岡市薬剤師会 薬剤師 原口 恵子 氏 | 8 |
| 3 | 3/7 (火) | 「家族がしてあげられること ～認知行動療法の活かし方～」 | 福岡県職員相談室 臨床心理士 中島 美鈴 氏 | 44 |
| 計 | | | | 72 |

③ メンタルヘルス対策セミナー

福岡労働局・福岡産業保健総合支援センター・福岡県労働基準協会連合会・全国健康保険協会福岡支部・福岡県・北九州市・飯塚市が協力し実施している。

【対象】福岡地区事業場の健康管理担当者等 【場所】福岡市民会館

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|-------------------------|---|-----|
| 7月11日(月) 13:30～16:30 | 講演 「中小企業における健康経営のすすめ」 特定医療法人財団博愛会 理事長 那須 繁 氏 「問題飲酒行動、酒と自殺、アルコール健康障害について ～上手なお酒とのつきあい方について」 医療法人社団翠会 八幡厚生病院 溝口 直美 氏 「ストレスチェック制度について」 福岡産業保健総合支援センター産業保健相談員 株式会社ソーシャル・ステップ 代表 渡邊 登美子氏 | 547 |

④ 全国労働衛生週間実施要綱説明会

福岡地区労働災害防止団体連絡協議会・福岡中央労働基準監督署が主催する福岡中央労働基準協会の研修会において、福岡市の自殺対策について説明した。

【対象】事業所の健康管理担当者等 【場所】福岡市民会館

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|------------------------|------------------------------------|-----|
| 9月6日(火) 14:50～15:05 | 講演 「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して」 | 464 |

⑤ 自殺予防キャンペーン

ア 市健康づくり月間関連事業

7区健康フェアでの自殺予防コーナーの設置

イ こころと法律の相談会

ウ 高校・大学生への自殺予防カード配布

健康診断時や新入生説明会等を活用したカードの配布 (24,710部)
就活イベント(マイナビ、県主催合同説明会等)でのカード配布

エ 身近な自殺問題 ～福岡市フォーラム2016秋～開催(3の再掲)

【対象】自殺問題に関わっている支援者、自死遺族、一般市民など、関心のある方

【場所】あいれふホール(中央区舞鶴2丁目)

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|-------------------------|---|-----|
| 9月 7日(水) 13:30～16:30 | 第一部 講演 「大切な人を自死でなくすとは～自死遺族支援への理解と対応～」 立命館大学総合心理学部 教授 川野 健治 氏 第二部 シンポジウム 「自死遺族支援の取り組み」 座長 川野 健治 氏 シンポジスト 福岡県弁護士会 自死遺族法律相談 福岡いのちの電話 リメンバー福岡 自死遺族の集い | 109 |

(4) 自殺未遂者支援事業

① 救急隊とのネットワーク事業

福岡市消防局との連携により、自傷を繰り返すケースや治療に繋がり難い自殺未遂者を適切な医療や相談窓口につなぐことを目的に、救急隊とのネットワーク事業を開始した。

継続連携案件 1件

相談先情報カード渡し件数 46件

| 日時 | 内容 | 参加数 |
|--------------------------|------|-----|
| 12月20日(火) 13:30～14:00 | 連携会議 | 4 |
| 計 | 1回 | 4 |

② 救急病院との連携事業

ア 救急病院

自殺未遂者支援における救急病院との連携強化をはかるため、平成27年度に引き続き、救急病院の自殺未遂者への支援の現状把握、自殺予防相談等の活用促進を目的として救急病院へ電話等実施した。

【期間】平成29年3月

【対象】福岡市救急病院協会加盟病院(39か所)

【方法】地域連携室、医療相談室ソーシャルワーカー等に対し現状把握、情報提供した。
H28年度に自殺予防相談を受けた3か所には訪問、それ以外の30か所には電話。

【結果】自殺未遂者支援の現状や精神科医療との連携状況、自殺予防情報センターリーフレット活用状況について確認することができた。

今後、地域連携室等への定期的な情報発信を継続し、連携救急病院の拡大を図る。

イ モデル救急病院

救急病院から相談機関，精神科医療機関への自殺未遂者支援における連携の課題を検討するため，平成27年度末にモデル救急病院を選定し，自殺未遂者搬送状況や自殺予防情報センターへの連携事例の情報共有等を定期的実施した。

【選定病院】福岡市内の救急病院1か所

【連携事例】2件

【結果】救急病院と相談機関との連携において，未遂者本人が経済的な問題の解決を強く求めた場合には自殺予防相談につながったが，本人・家族の多くは相談に拒否的，消極的で相談支援に至らなかった。

また，自殺未遂者支援において，深夜帯の搬送や家族がいない場合などの精神科医療との連携の課題が出された。

| 日 時 | 参加数 |
|----------------------|-----|
| 4月15日（金）14:30～15:00 | 1 |
| 6月21日（火）14:00～14:30 | 1 |
| 9月16日（金）11:00～11:30 | 1 |
| 10月18日（木）14:00～14:30 | 2 |
| 4回 | 5 |

ウ 自殺未遂者支援者研修

自殺未遂者への医療において救急病院と精神科病院の連携強化のため，救急病院と精神科病院との合同研修を行い，連携の課題について検討を行った。

【対象】モデル救急病院及び精神科病院職員

【場所】救急病院会議室

| 日 時 | 内 容 | 参加数 |
|-------------------------|---|-----|
| 2月16日（木） 18:30～20:10 | 講話 「福岡市自殺未遂者支援ネットワーク事業について」 福岡市精神保健福祉センター 所長 河野 亨 意見交換 自殺未遂者支援における救急病院と精神科病院の連携 | 13 |

(5) 自死遺族支援事業

① 自死遺族法律相談（福岡県弁護士会共催事業）

毎月1回（第1水曜日13時～17時），弁護士と臨床心理士等が同席し，自死遺族が抱える法律や心の問題に対応している。

| 実施期間 | 件数 | |
|-------------------|----|---|
| 平成28年4月 ～ 平成29年3月 | 対面 | 7 |
| | 電話 | 2 |
| | | 9 |

② リメンバー福岡 自死遺族の集い

リメンバー福岡自死遺族の集いにおける会場の確保・広報・連絡調整・集い当日の運営サポート等や自死遺族からの要望に応じてメッセージ集の送付を行っている。

【スタッフ】 臨床心理士，精神保健福祉士，保健師等

【メッセージ集の送付状況】 9件

【日程】 奇数月の第4日曜日 13:00～16:30

【場所】 あいれふ 視聴覚室等

【参加者状況】

() 新規

| | | | | | | | |
|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|---------|
| 開催日 | 5/22 | 7/24 | 9/25 | 11/27 | 1/22 | 3/26 | 計6回 |
| 参加者数 | 23(4) | 21(4) | 25(10) | 18(6) | 21(7) | 16(5) | 124(36) |

(6) 若年層，児童・生徒の自殺予防に資する教育の推進

① 教職員等対象ゲートキーパー養成研修

| 日 時 | 対 象 | 参加数 |
|-------------------------|------------|-----|
| 5月15日(日) 9:00～11:00 | スクールカウンセラー | 30 |
| 5月27日(金) 15:30～16:30 | 小学校教職員 | 19 |
| 7月19日(火) 14:45～16:00 | 特別支援学校職員 | 96 |
| 7月22日(金) 15:30～17:00 | 特別支援学校職員 | 76 |
| 7月25日(月) 9:00～10:00 | 小学校教職員 | 25 |
| 8月17日(水) 13:30～14:30 | 中学校教職員 | 38 |
| 計 | 6回 | 284 |

② 学校現場における自殺予防検討会

平成27年度に作成された「学校における自殺予防」研修媒体の効果検証を行い、より効果的な研修実施とするため、検討会を開催した。

| 日 時 | 内 容 | 参加数 |
|------------------------|--------------------------------------|-----|
| 1月6日(金) 13:00～14:30 | 平成28年度自殺予防研修実施報告 研修媒体効果検討 意見交換 | 8 |
| 計 | 1回 | 8 |

(7) 関係機関との連携

① 福岡市自殺対策協議会

| 日 時 | 内 容 | 委員参加数 |
|-------------------------|--------------------------------------|-------|
| 6月10日(金) 10:00~11:30 | 「福岡市自殺対策総合計画」の進捗状況 についてほか 意見交換 | 18 |
| 3月22日(水) 10:00~11:30 | 「福岡市自殺対策総合計画改定」 についてほか 意見交換 | 15 |
| 計 | 2回 | 33 |

【委員構成】合計23名

医療関係者 8名, 学識関係者 4名, 労働関係者 3名,

地域関係者 1名, 警察 1名, 民間 2名, 行政関係者 4名

② 自殺未遂者支援連携会議

| 日 時 | 内 容 | 参加数 |
|-------------------------|--|-----|
| 8月19日(金) 15:00~16:30 | ・各団体の活動計画 ・自殺予防情報センターにおける未遂者支援事業 ・「自殺予防のためのところと法律の相談会」開催 について | 9 |
| 計 | 1回 | 9 |

③ 福岡県・北九州市との連絡会議

| 日 時 | 内 容 | 参加数 |
|--------------------------|----------------|-----|
| 10月14日(金) 15:00~16:15 | 自殺対策事業に関する情報交換 | 9 |
| 計 | 1回 | 9 |

7 相談事業

平成27年度より、従来行ってきた精神保健全般についての[こころの健康相談]から、[専門相談]へと移行した。「アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症」、「ひきこもり」、「発達障がい」、「性同一性障がい」の専門電話相談および、「アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症」、「ひきこもり」の専門医師による面接相談を行っている。従来の相談についても必要に応じ行っている。

(1) 専門医師による面接相談（要予約）

「アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症」 相談日時 第1・3火曜日 第2・4木曜日 午後
「ひきこもり」 相談日時 月1回の金曜日 午前

(2) 専門電話相談

「アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症」 「ひきこもり」 火・木曜日 午前10時～午後1時
「発達障がい」 「性同一性障がい」 第1・3水曜日 午前10時～午後1時
電話番号 737-8829

| | 計 | 専門相談 | | | | | | | | | その他 |
|----|-------|------|-------|-----|-------|-----|-----|-------|-------|---------|-----|
| | | 小計 | 依存症 | | | | | ひきこもり | 発達障がい | 性同一性障がい | |
| | | | アルコール | 薬物 | ギャンブル | その他 | 計 | | | | |
| 面接 | 255 | 224 | 46 | 56 | 31 | 1 | 134 | 77 | 11 | 2 | 31 |
| 電話 | 1,085 | 546 | 140 | 98 | 93 | 32 | 363 | 102 | 74 | 7 | 539 |
| 計 | 1,340 | 770 | 186 | 154 | 124 | 33 | 497 | 179 | 85 | 9 | 570 |

※面接相談の件数には当センター職員による相談も含まれます。

相談者の状況（1件の相談に関し、全ての相談者を含む）

【本人との続柄】

| | 計 | 本人 | 配偶者 | 親 | 子ども | きょうだい | その他の親族 | 知人 | その他 |
|----|-------|-----|-----|-----|-----|-------|--------|----|-----|
| 面接 | 322 | 102 | 24 | 138 | 13 | 13 | 10 | 3 | 19 |
| 電話 | 1,094 | 408 | 94 | 259 | 35 | 33 | 55 | 18 | 192 |
| 計 | 1,416 | 510 | 118 | 397 | 48 | 46 | 65 | 21 | 211 |

【性別・年齢別】

| | 計 | ～19 | 20～29 | 30～39 | 40～49 | 50～59 | 60～69 | 70～ | 不明 |
|----|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|
| 男 | 430 | 3 | 26 | 57 | 42 | 44 | 42 | 20 | 196 |
| 女 | 984 | 8 | 49 | 106 | 104 | 162 | 95 | 42 | 418 |
| 不明 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 計 | 1,416 | 11 | 75 | 163 | 146 | 206 | 137 | 62 | 616 |

【相談時間】

(分)

| | 計 | ～14 | 15～29 | 30～59 | 60～ |
|----------|-------|-----|-------|-------|-----|
| 電話 件数 | 1,085 | 792 | 216 | 68 | 9 |

8 組織育成

家族会、患者会などの組織の育成に努めるとともに、その組織の活動に協力するなど各種組織の活動を支援している。

(1) リメンバー福岡 自死遺族の集い(7の再掲)

リメンバー福岡自死遺族の集いにおける会場の確保・広報・連絡調整・集い当日の運営サポート等や自死遺族からの要望に応じてメッセージ集の送付を行っている。

【スタッフ】 臨床心理士，精神保健福祉士，保健師等

【メッセージ集の送付状況】 15 件

【日程】 奇数月の第4日曜日 13:00～16:30

【場所】 あいれふ 研修室等

【参加者状況】 () 新規

| | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|---------|
| 開催日 | 5/24 | 7/26 | 9/27 | 11/22 | 1/24 | 3/27 | 計6回 |
| 参加者数 | 20(7) | 25(9) | 23(7) | 18(7) | 8(5) | 30(9) | 124(44) |

(2) 当事者団体等への支援

① アディクション関連団体

| 名称 | 日時 | 内容 |
|---|-----------|--|
| ジャパンマック福岡 | 1月13日(金) | 運営委員会 |
| 依存症リハビリテーションセンター ジャパンマック福岡 女性ミーティング 2周年記念感謝の集い | 7月16日(土) | 「福岡市精神保健福祉センターの依存症対策について」 |
| アディクションフォーラム | 11月27日(日) | 基調講演，活動報告，モデルミーティング，出会いの相談室 |
| 福岡県断酒協議会 | 8月21日(日) | 第26回酒をやめたい人の集い パネルディスカッションにて福岡市の取り組み（精神保健福祉センターの依存症支援）を紹介 |

② 家族会・当事者会

| 名称 | 日時 | 内容 |
|-------------|----------|-----------|
| 親の会「あすなろ」訪問 | 6月15日(水) | 活動説明，意見交換 |
| 親の会「あすなろ」 | 12月9日(金) | 意見交換会 |

③ その他

| 名称 | 出席回数 | 内容 |
|-----------------------|------|---|
| ピアサポート講座 実行委員会 | 7回 | ピアサポート講座の日程、内容、講師 PR方法などについての話し合い |
| 福祉サービス事業所 「利生院」開所式 | 1回 | |
| 当事者活動支援 | 1回 | 「精神保健福祉サービス事業所にお ける新規利用者のモニタリングおよ びピアサポートの効果検証に関する 研究」調査説明会に協力 |

9 関係機関との会議

| 会議名 | 主催・事務局 | 出席回数 |
|-------------------------|------------------|------|
| 福岡市職員衛生管理審査会 | 総務企画局コンプライアンス推進課 | 10回 |
| 福岡市立病院機構 職員衛生管理審査会 | 福岡市立病院機構 | 2回 |
| 福岡市職員メンタルヘルス対策推進協議会 | 総務企画局コンプライアンス推進課 | 1回 |
| 福岡市民生委員・児童委員推薦会 | 保健福祉局高齢者政策課 | 3回 |
| 民生委員審査専門分科会 | 保健福祉局高齢者政策課 | 1回 |
| 平成28年度あいあい青年期発達障がい者連携会議 | あいあいセンター | 1回 |
| 発達障がい児・者支援体制検討会議 | 保健福祉局障がい者在宅支援課 | 1回 |
| 福岡市発達障がい児・者支援協議会幹事会 | 保健福祉局障がい者在宅支援課 | 3回 |
| 福岡市発達障がい児・者支援協議会 | 保健福祉局障がい者在宅支援課 | 2回 |
| 第1回保健福祉審議会総会 | 保健福祉局政策推進課 | 1回 |
| 保健福祉審議会 | 保健福祉局政策推進課 | 1回 |
| こども・子育て審議会 | こども未来局 | 1回 |
| 障がい者保健福祉専門部会 | 障がい者在宅支援課 | 2回 |
| 障がい者保健福祉専門部会 | 障がい者在宅支援課 | 1回 |
| 性的マイノリティ市内関係課連絡会議 | 市民局人権推進課 | 1回 |
| 障がい者差別禁止条例検討会議 | 保健福祉局障がい者在宅支援課 | 1回 |
| 認知症初期集中支援チーム検討会議 | 保健福祉局地域包括ケア推進課 | 2回 |
| 自殺対策協議会 | 保健福祉局保健予防課 | 2回 |
| 福岡市学校精神保健協議会 | 福岡市発達教育センター | 2回 |
| 福岡市行政不服審査会協議 | 総務企画局 行政部 法制課 | 1回 |
| 福岡市障がい者就労支援センター運営委員会 | 福岡市就労支援センター | 1回 |
| 福岡市男女共同参画推進協議会幹事会 | 男女共同参画部 男女共同参画課 | 1回 |
| 実態調査提案競技 | 障がい者在宅支援課 | 1回 |
| 三者連絡会議 | 北九州市 | 1回 |
| 福岡県自殺対策推進協議会 | 福岡県心の健康づくり推進室 | 1回 |
| 福岡県地域生活定着支援協議会 | 福岡県地域生活定着支援センター | 1回 |
| 福岡県地域精神保健福岡ブロック協議会総会 | | 1回 |
| 福岡労働局技術審査員会 | 福岡労働局 | 1回 |
| 全国自殺対策主管課長会議 | | 1回 |
| 第1回摂食障害対策推進協議会 | 九州大学病院 | 1回 |
| 更生保護施設説明 | 法務省 | 1回 |
| アクション関連問題研修会の連絡会議 | 福岡県精神保健福祉センター | 1回 |
| 心身喪失者等医療観察法関係研究協議会 | 福岡地方裁判所 | 1回 |
| 自殺未遂者支援ネットワーク事業会議 | 千鳥橋病院 | 1回 |

| | | |
|---|-----------------------|----|
| 自殺未遂者支援連絡会議 | | 1回 |
| 地域活動支援センター I 型センター長会議 | 地域活動支援センター I 型 | 6回 |
| 障がい者等地域生活支援協議会(6/24,11/29) | 保健福祉局障がい者在宅支援課 | 2回 |
| 福岡市学校精神保健協議会 4/19, 1/24 | 福岡市学校精神保健協議会 | 2回 |
| いじめ防止対策推進委員会 7/7, 11/18 | 教育委員会 | 3回 |
| 思春期相談関連懇話会 | こども総合相談センター こども相談課 | 2回 |
| 相談窓口担当課連絡会議 | 市長室広報課 | 1回 |
| 福岡コーディネート支援連絡会 8/25,2/16 | 福岡市中心身障がい福祉センター | 2回 |
| 障害者就業・生活支援センター野の花 業務連絡会議 | 障害者就業・生活支援センター野の花 | 1回 |
| 平成28年度 雇用移行推進連絡会議 | 労働局 | 1回 |
| 精神科長期入院患者の地域移行に関する 打ち合わせ 7/25,8/19,3/7 | 保健予防課 | 3回 |
| 発達障がい者・精神障がい者雇用支援連絡 協議会 8/19, 12/16 | 障害者職業センター | 2回 |
| 認知症研修会 | 九州大学 | 1回 |
| 福岡市精神科医会平成28年度第1回理事会 | 福岡市精神科医会 | 1回 |
| 一般かかりつけ医と精神科医の連携強化事業 連絡協議会 | | 1回 |
| 福岡県精神保健福祉協会幹事会 | 福岡県精神保健福祉協会 | 1回 |
| 福岡県精神保健福祉協会常任理事会・幹事会 | 福岡県精神保健福祉協会 | 1回 |
| 福岡県精神保健福祉協会評議員会 | 福岡県精神保健福祉協会 | 1回 |
| 福精協福岡ブロック定例院長会 | | 4回 |
| 全国精神保健福祉センター研究協議会 | | 1回 |
| 全国精神保健福祉センター長会・大都市部会 | | 1回 |
| 全国精神保健福祉センター長会会議 | | 1回 |
| 全国精神保健福祉センター長会常任理事会 | | 1回 |
| 全国精神保健福祉センター長会常任理事会 | | 2回 |
| 全国精神保健福祉センター長会理事会 | | 1回 |
| 全国精神保健福祉センター長会定期総会 | | 1回 |
| 平成28年度九州ブロックセンター長会 | | 1回 |
| 薬物依存者の地域支援に関する政策研究 班会議 | | 3回 |

10 精神医療審査結果

(1) 精神医療審査会

精神障害者の人権に配慮しつつ、その適正な医療及び保護を確保するため中立公正な審査を行う専門的かつ独立的な機関

〈構成〉 精神障害者の医療に関する学識経験者2～名、精神障害者の保健又は福祉に関する学識経験者1～名、法律に関する学識経験者1～名で合議体を構成。平成13年より3合議体

〈検査内容〉 ①書類審査：医療保護入院届、措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告書
②入院者からの退院請求及び処遇改善請求

〈開催日〉 月3回 第1・2・4木曜日

(2) 審査件数

| 開催回数 | 退院請求 | 処遇改善請求 | 医療保護入院届 | 定期病状報告書 | |
|------|------|--------|---------|---------|-------|
| | | | | 医療保護入院者 | 措置入院者 |
| 30 | 27 | 7 | 2,191 | 984 | 33 |

(3) 退院・処遇改善審査結果

| | | | | |
|----------------------------|------------|-----------|----------------|----|
| 退 院 請 求 書 | 平成28年度請求件数 | | 37 | |
| | 結 果 | 審査 | 現在の入院形態での入院が適当 | 23 |
| | | | 他の入院形態への移行が適当 | 4 |
| | | | 入院継続は適当でない | 0 |
| | | | 請求が取り下げられたもの | 5 |
| | | | 既に退院したもの | 2 |
| | | | 審査を継続したもの | 3 |
| 処 遇 改 善 請 求 | 平成28年度請求件数 | | 8 | |
| | 結 果 | 審査 | 現在の処遇は適当 | 7 |
| | | | 現在の処遇は適当でない | 0 |
| | | | 請求が取り下げられたもの | 0 |
| | | | 既に退院したもの | 0 |
| | | 審査を継続したもの | 1 | |

※審査書類件数3,208件
(医療保護入院届と定期病状報告書)

※退院・処遇改善請求件数37件
(うち8件は、退院・処遇改善同時請求)

※現地意見聴取件数23件
(うち6件は、退院・処遇改善同時請求)

(4) 定期報告等審査結果

| | | | | |
|---|------------------|--|----------------|-------|
| 医 療 保 護 入 院 届 | 審査件数 | | 2,191 | |
| | 審 査 結 果 | | 現在の入院形態での入院が適当 | 2,180 |
| | | | 他の入院形態への移行が適当 | 0 |
| | | | 入院継続は適当でない | 0 |
| | | | 次年度へ審査を継続したもの | 11 |
| 医 療 保 護 入 院 者 の 定 期 病 状 報 告 書 | 審査件数 | | 984 | |
| | 審 査 結 果 | | 現在の入院形態での入院が適当 | 970 |
| | | | 他の入院形態への移行が適当 | 0 |
| | | | 入院継続は適当でない | 0 |
| | | | 次年度へ審査を継続したもの | 14 |
| 措 置 入 院 者 の 定 期 病 状 報 告 書 | 審査件数 | | 33 | |
| | 審 査 結 果 | | 現在の入院形態での入院が適当 | 31 |
| | | | 他の入院形態への移行が適当 | 0 |
| | | | 入院継続は適当でない | 0 |
| | | | 次年度へ審査を継続したもの | 2 |
| 審査件数合計 | | | 3,208 | |

11 自立支援医療公費負担及び精神障害者保健福祉手帳の判定

(1) 認定審査委員会

開催日：月2回 第2・4水曜日

(2) 自立支援医療公費負担

H29.3月末現在

| | 計 | 東区 | 博多区 | 中央区 | 南区 | 城南区 | 早良区 | 西区 |
|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 承認 | 23,993 | 5,036 | 3,704 | 2,451 | 4,261 | 2,008 | 3,430 | 3,103 |
| 不承認 | 2 | | | | | | 1 | 1 |
| 保留 | 118 | 33 | 17 | 3 | 19 | 12 | 16 | 18 |
| 計 | 24,113 | 5,069 | 3,721 | 2,454 | 4,280 | 2,020 | 3,447 | 3,122 |
| 所持者数 | 23,055 | 4,818 | 3,555 | 2,330 | 4,046 | 2,046 | 3,316 | 2,944 |

(3) 精神障害者保健福祉手帳

H29.3月末現在

| | 計 | 東区 | 博多区 | 中央区 | 南区 | 城南区 | 早良区 | 西区 | |
|------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 承認 | 1 | 306 | 53 | 42 | 21 | 82 | 16 | 49 | 43 |
| | 2 | 2,361 | 536 | 399 | 225 | 417 | 208 | 322 | 254 |
| | 3 | 2,228 | 489 | 345 | 238 | 367 | 203 | 309 | 277 |
| | 計 | 4,895 | 1,078 | 786 | 484 | 866 | 427 | 680 | 574 |
| 不承認 | 35 | 8 | 3 | 2 | 10 | 1 | 8 | 3 | |
| 保留 | 141 | 44 | 14 | 8 | 27 | 14 | 18 | 16 | |
| 計 | 5,071 | 1,130 | 803 | 494 | 903 | 442 | 706 | 593 | |
| 所持者数 | 1 | 927 | 171 | 122 | 71 | 241 | 74 | 130 | 118 |
| | 2 | 7,665 | 1,681 | 1,162 | 728 | 1,322 | 686 | 1,157 | 929 |
| | 3 | 4,698 | 1,000 | 762 | 471 | 786 | 434 | 613 | 632 |
| | 計 | 13,290 | 2,852 | 2,046 | 1,270 | 2,349 | 1,194 | 1,900 | 1,679 |

※ 承認・不承認・保留件数については、平成28年4月1日～平成29年3月31日までの累計。
所持者数は、平成29年3月末。

1 2 調査研究事業

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業（精神障害分野）
「刑の一部執行猶予制度下における薬物依存者の地域支援に関する政策研究
（研究代表者：松本俊彦）」
保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査システムの開発と
その転帰に関する研究（分担研究）

平成 28 年度より開始となった上記研究に、東京都立多摩総合精神保健福祉センターと川崎市精神保健福祉センター、神奈川県精神保健福祉センターと共に、福岡市精神保健福祉センターが協力している。（研究の詳細は分担研究報告書を参照）

平成 28 年度は以下の会議に出席し、実際に調査も開始している。

| 名称 | 日時 | 内容 |
|--|--------------|--|
| 保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査システムの開発とその転帰に関する研究 班会議 (東京八重洲ホール) | 8 月 2 8 日(日) | 第 1 回班会議 研究デザインの検討等 |
| | 1 月 1 7 日(火) | 第 2 回班会議 システム入力演習等 |
| 合同研究成果報告会 (東京八重洲ホール) | 3 月 1 0 日(金) | 保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査システムの開発とその転帰に関する研究成果報告 |

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
「刑の一部執行猶予制度下における薬物依存者の地域支援に関する政策研究」
分担研究報告書

保護観察の対象となった薬物依存症者のコホート調査システムの開発と その転帰に関する研究

研究分担者 松本 俊彦
国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長

研究要旨：

【目的】 2016年6月に「刑の一部の執行猶予制度」が施行され、保護観察下および保護観察終了後の薬物事犯者に対する地域支援体制の構築は喫緊の課題である。そのなかで、薬物事犯者に対する長期的な転帰調査と、その知見に基づく地域支援体制の構築は喫緊の課題である。本研究の目的は、保護観察対象となった薬物事犯者の転帰を明らかにし、転帰に影響する要因を明らかにすることともに、保護観察から地域の任意の社会資源への連携を促進するシステムを構築することにある。

【方法】 今年度は、法務省保護局観察課との調整、研究に参加する精神保健福祉センターのリクルートと調査方法に関する協議を通じて、研究デザインを確定した。また、全国展開にも応用可能なデータ入力とウェブシステムのシステム開発を行った。

【結果および考察】 今年度の研究により、コホート研究のデザインが確定された。具体的には、精神保健福祉センターにおいて、東京都多摩地区、川崎市、神奈川県、福岡市における薬物事犯保護観察対象者を、保護観察開始時点より3年間追跡することとした。対象者リクルートは保護観察所で行い、研究に関する同意取得や定期的な情報収集は調査対象地域の精神保健福祉センター（東京都立多摩総合精神保健福祉センター、川崎市精神保健福祉センター、神奈川県精神保健福祉センター、福岡市精神保健福祉センター）で行うとなった。また、法務省保護局観察課からデータを提供してもらい、各精神保健福祉センターから提供される同意者の情報をもとに、薬物事犯による保護観察対象者を同意者と非同意者の比較から、同意者の偏りを明確に説明できる体制も確保した。さらに、データ管理のためのウェブシステムを開発し、不正アクセスや情報漏えい対策が万全なシステムを構築するとともに、各精神保健福祉センターより専用のタブレットを通じて情報入力ができる体制を整備した。以上の決定事項にもとづいて、2017年3月よりコホート研究を開始した。

【結論】 我々は、コホート研究と薬物依存症者の地域支援を同時に進行させることができる体制を整備するとともに、本研究プロジェクトに、「Voice Bridges Project（「声」の架け橋プロジェクト）」という名前を与えた。

福岡 Draw プログラムにおける「ひきこもり家族教室」の実施について

福岡市精神保健福祉センター

○神前 洋帆 寺山 愛 丸林 一成 宇佐美 貴士
宮之脇 朗美 江口 智之 河野 亨

1. はじめに

福岡市精神保健福祉センター(以下、「当センター」という)は、平成27年度より「依存症」、「ひきこもり」、「発達障がい」、「性同一性障がい」に関する『専門相談』を開始した。これまでの相談支援体制を見直し、他の相談機関等と相談内容の差別化をするとともに、当センターが中心となって新たな専門支援体制を構築することを狙いとしている。『専門相談』開始に伴い、専門支援体制の一貫として「アルコール家族教室」、「薬物依存問題を抱える家族のための教室」、「薬物回復支援プログラム」「ひきこもり家族教室」において福岡市独自のプログラム(福岡 Draw プログラム)を作成し、順次実施している。

本稿では、福岡 Draw プログラム内の「ひきこもり家族教室」の概要および開始後の参加者の状況について報告する。

2. 「ひきこもり家族教室」の概要

福岡 Draw プログラムの「ひきこもり家族教室」では、「CRAFT」に基づいたプログラムを実施している。そもそも「CRAFT(コミュニティ強化および家族訓練)」は、物質依存に陥った人を相談に繋げるために、その家族を対象に行われた(Smith & Meyer, 2004)。ひきこもりにおいては、境・坂野により、ひきこもり状態にある人の家族を対象として「CRAFT」の基礎理論に基づいたプログラムを実施し、成果を得ている。

以下に、「ひきこもり家族教室」の概要を記す。

(1) プログラムの目的

家族が本人との普段のやりとりを振り返り、物事の捉え方や対応方法について実践を通して学ぶことで、①家族自身の機能回復をすること②家族関係を改善すること③本人を社会とつなげることの3点の目標達成を目指す。

(2) 対象者

福岡市内在住の概ね20歳以上の社会的ひきこもりの方のご家族(定員15名)

(3) 従事者

精神科医師、センター職員(臨床心理士・精神保健福祉士)

(4) 家族教室参加までの流れ

当センター専門相談にて事前面接の予約をとり、事前面接で家族状況や本人情報を聞き取る。教室参加に同意した方の申し込みを受理。その後、センター職員で処遇検討を行い、対象者を決定している。

(5) 実施日時

毎月第2水曜日午後2時～午後4時。1クールを全5回として、1年間で通算2クール開催。

(6) プログラム内容

教室ではプログラムに則ったワークブックを作成し、参加者に配布している。教室の各回でロールプレイを導入し、参加者は体験的に対応方法について学ぶことができる。また、グループワーク形式で進め、ワークブックを輪読したり、設問を解いて意見を交換したりするなど、参加者主体の教室となるような工夫をしている。

プログラム内容については、表 1 に示す(平成 27 年度の教室もほぼ同様の内容にて実施)。

| 回 | 開催月 | | 内容 | 講師 |
|---|-----|------|------------------------|--------|
| 1 | 5 月 | 11 月 | ひきこもりについて・オリエンテーション | 精神科医師 |
| 2 | 6 月 | 12 月 | ポジティブなコミュニケーションを身に着けよう | センター職員 |
| 3 | 7 月 | 1 月 | 行動の分析・望ましい行動を増やす | センター職員 |
| 4 | 8 月 | 2 月 | 先回りをやめ、望ましくない行動を減らす | センター職員 |
| 5 | 9 月 | 3 月 | 家族の生活を豊かにする・まとめ | センター職員 |

表 1 ひきこもり家族教室のプログラム内容

3. 実施

(1)参加者の状況

平成 27 年度より開始したひきこもり家族教室は、平成 28 年 7 月までで計 3 クール実施している。平成 27 年度末までの、申込者は延べ 28 名、参加対象者は延べ 23 名だった。各クールの参加状況を表 2 に示す。

| | 性別 | 登録者数 | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 | 第 4 回 | 第 5 回 | 合計(延べ) |
|---|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 第 1 クール (平成 27 年 5 月～ 9 月) | 男 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 19 |
| | 女 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 39 |
| 第 2 クール (平成 27 年 11 月～ 平成 28 年 3 月) | 男 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 15 |
| | 女 | 7 | 6 | 7 | 5 | 6 | 5 | 29 |

表 1 参加人数の推移

希望者については、クール終了後も継続して次のクールへ参加可能だが、新規参加者と同様、次期クール導入のための事前面談を実施し、処遇検討の対象としている。

(2)評価

第 5 回終了時には、満足度を調査するため、「大変満足・多少満足・どちらでもない・少々不満・不満」のいずれかを回答してもらった。第 1 クール、第 2 クール終了時の参加者の満足度は、「大変満足」と回答した参加者が 13 名(68.4%)、「多少満足」と回答した参加者が 5 名(26.3%)、「どちらでもない」、「多少不満」、「不満」と回答したのは 0 名で、無回答が 1 名(5.3%)だった。

4. 考察・課題

参加者の状況から分かるように、ひきこもり家族教室では中断者が少なく、一定した出席率を保っている。さらに、第 5 回終了後に実施した参加者への満足度調査においても満足度は高い。しかし、現時点で参加家族やひきこもり本人への効果測定に対応する尺度とデータが不十分である。各回終了時にはアンケートと共に K10(Kessler10)に回答してもらい、各クールの事前・事後調査として GHQ28 を配布し回答を求めているが、実質的なデータはとれていない。より効果的なプログラムを目指すためにも、データを蓄積し、効果を検証していくことが課題の 1 つである。

福岡 Draw プログラム開始以降、ひきこもり家族教室をはじめ各教室の参加者数は増加傾向である。新たな専門支援体制として開始した教室へのニーズは高まっているといえるが、福岡市内におけるひきこもりの家族への社会資源は十分でないのが現状である。当センターとしても、参加者の発言内容や本人への対応の仕方の変化から家族教室の有用性を実感しており、今後もより多くの支援を必要としている家族が教室に参加できるよう普及・啓発が必要だと考える。さらに、市内の社会資源を充実させるために、ひきこもり本人や家族への社会資源開拓についても責務として取り組みたい。

精神障がい者実態調査から見えてくるもの（速報）
～平成 28 年度 福岡市障がい児・者等実態調査～

○丸林 一成（P S W）, 安部 大和（P S W）,
徳永 弥生（P H N）, 宮之脇朗美（P H N）,
江口 智之（他）, 河野 亨（D R）

福岡県：福岡市精神保健福祉センター

【はじめに】

「福岡市障がい児・者等実態調査」は、福岡市に居住する障がい児・者等の生活実態や意識、福祉施策に対する要望等を把握することを目的としており、概ね 3 年に一度「身体・知的障がい児・者」「発達障がい児・者」や「難病患者」「事業者等」等と同時期に実施している。今後の福岡市における「障がい福祉計画」及び「保健福祉総合計画」の策定にあたり、障がい児・者の実態を把握するとともに、障がい保健福祉施策を推進する上で利用者のニーズを把握し活用するため、この調査を実施している。

「精神障がい者実態調査」は、一次調査（患者数調査）・二次調査（実態・意識調査）と二段階に分けて実施。

【取り組み】

調査期間：①一次調査 平成 28 年 6 月～7 月
②二次調査 平成 28 年 9 月～10 月

【対象者】

福岡都市圏に開設し精神科を標榜している病院（約 40 施設）、福岡市内に開設し精神科を標榜している診療所・クリニック（約 110 施設）に入院又は通院している福岡市に住所を有する患者。

通院患者（平成 28 年 6 月 1 日～30 日）

入院患者（平成 28 年 6 月 30 日時点）

【実施】

①一次調査（患者数調査）

各医療機関へ依頼し、対象期間中の患者数を疾患・年齢等ごとに調査票へ記載してもらう。

②二次調査（実態・意識調査）

一次調査の結果を基に、各医療機関ごとの二次調査対象者数を設定し、各医療機関へ依頼。調査する患者を無作為抽出のうえで、調査票（スタッフ用・患者用）に記入してもらう。

【経過】

現時点で集計結果が出ているのは一次調査のみであるが、その結果から見えてくる、福岡市における精神障がい者の実態について、考察を加えながら報告する。